

情報収集衛星に係る経費の平成29年度政府予算案

平成28年12月28日
内閣官房

1. 平成29年度政府予算案の概要

情報収集衛星については、合計10機（基幹衛星4機、時間軸多様化衛星4機、データ中継衛星2機）の整備を目標とし、以下のような方針の下、情報収集衛星の機能の拡充・強化を継続する。

- (1) 光学8号機、レーダ7号機及びレーダ8号機の開発企業選定の結果を踏まえ、機数増による将来のコスト増を見据え、コスト削減に取組みつつ、着実に開発を進める。
- (2) データ中継衛星に対応した第七期地上システムの構築を進め、データ量の増加に対応するとともに、必要な性能の向上を図る。
- (3) 秘密文書の管理機能や利用省庁におけるデータのダウンロード機能を導入し、各種情報を融合・処理した地理空間情報（GEOINT）の基盤整備を着実に進める。
- (4) 情報収集衛星システムの機能・性能の抜本的向上のため、重要技術の先行研究開発を進める。

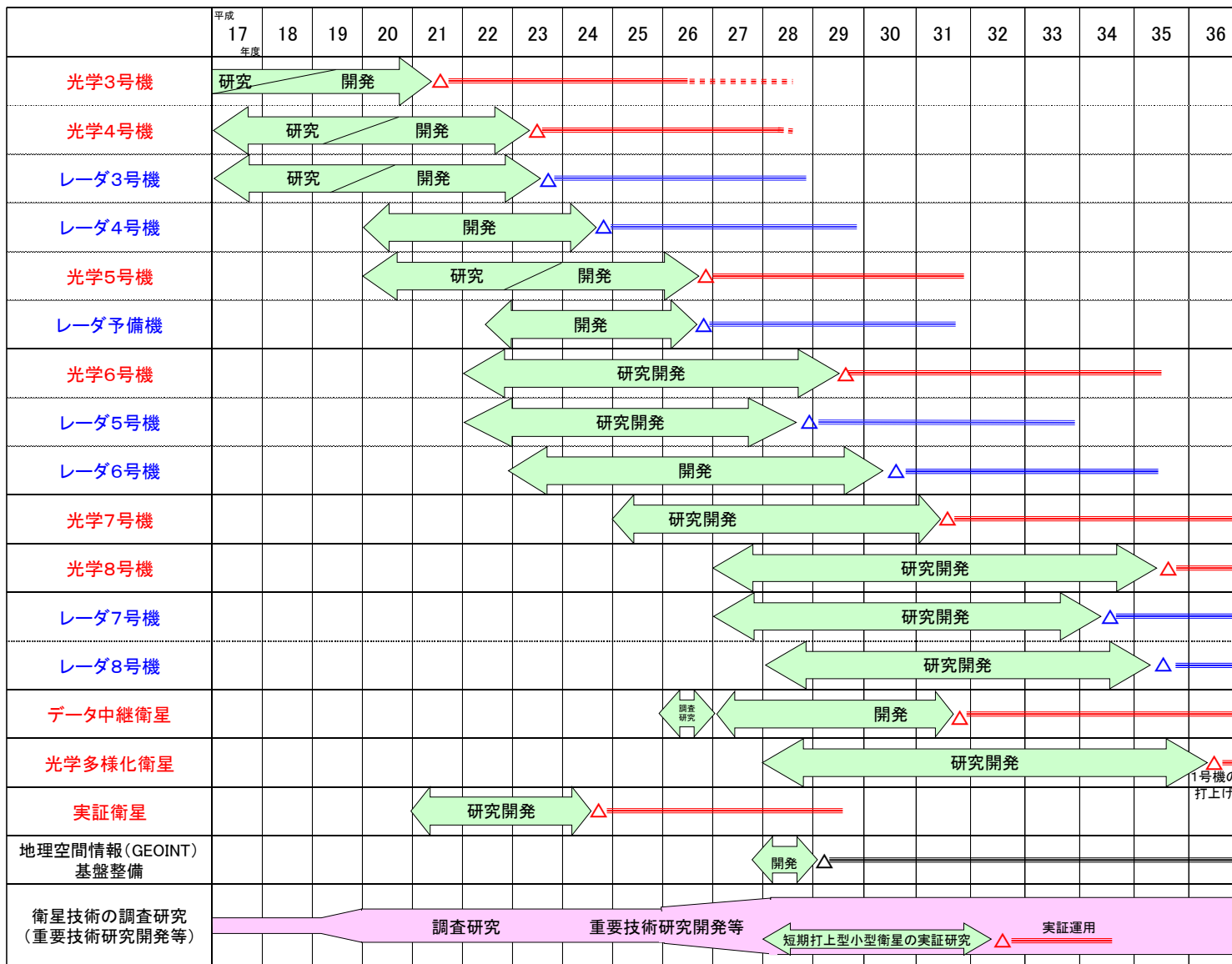
2. 平成29年度政府予算案の内訳

(単位：億円)

経費区分	平成28年度 予算額 (A)	平成28年度 第二次補正 予算額	平成29年度 政府予算案 (B)	対前年度 比較増減 (B-A)
(1) 情報収集衛星の運用等	141	10	189	48
(2) 光学6号機、レーダ5、6号機の開発	249	28	101	▲149
(3) 光学7号機の開発	66	91	74	8
(4) 光学8号機の開発	28	0	17	▲10
(5) レーダ7、8号機の開発	26	0	99	73
(6) データ中継衛星の開発	46	34	80	34
(7) 光学多様化1号機の開発	2	0	3	1
(8) 実証衛星の運用	8	0	8	0
(9) 地理空間情報（GEOINT） 基盤整備等	4	11	4	0
(10) 衛星技術の調査研究等	49	1	45	▲4
合計	619	175	620	1

(注) 四捨五入のため、必ずしも合計が一致するわけではない。

研究・開発及び打上げスケジュール



△: 打上げ・運用開始

※ 平成29年度予算案時点での見通しであり、今後、変更が生じ得る。